

# 第9回 京都府がん医療戦略推進会議の開催概要

## 1 日時

令和元年8月8日(木曜)午後3時から午後5時まで

## 2 場所

京都ガーデンパレス 葵の間 (京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町 605)

## 3 出席団体

### <がん診療連携拠点病院>

京都府立医科大学附属病院  
京都大学医学部附属病院  
京都第二赤十字病院  
京都市立病院  
京都第一赤十字病院  
京都医療センター  
京都桂病院  
宇治徳洲会病院  
市立福知山市民病院

### <地域がん診療病院>

京都山城総合医療センター  
京都中部総合医療センター  
京都府立医科大学附属北部医療センター

### <京都府がん診療連携病院>

京都岡本記念病院  
舞鶴医療センター

### <関係団体>

京都府医師会  
京都府病院協会  
京都私立病院協会

### <オブザーバー:京都府がん診療推進病院>

三菱京都病院  
済生会京都府病院  
洛和会音羽病院  
武田総合病院  
京都鞍馬口医療センター  
京都民医連中央病院  
綾部市立病院

### <京都府>

## 4 議題

### 1 報告事項

- (1) がん診療連携拠点病院等の整備について
- (2) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会(7/10 国立がん研究センター主催)の開催結果について
- (3) 第2期京都府がん対策推進計画等について
- (4) がん診療連携拠点病院の取組み (PDCA サイクル) について  
(地域がん診療連携拠点病院: 京都第一赤十字病院・京都医療センターから事例紹介)

### 2 協議事項

各部会の活動について

### 3 その他

## 5 議事概要・主な意見

### 1 - (1) がん診療連携拠点病院等の整備について

平成 31 年度から新規・更新されたがん診療連携拠点病院等及び京都府がん診療連携病院について、報告。

○平成 31 年度からの新規指定病院について

山城北医療圏において、

- ・宇治徳洲会病院が国指定 地域がん診療連携拠点病院に新規指定
- ・京都岡本記念病院が府指定 がん診療連携病院に新規指定

○1 年更新の病院について

医療安全対策の項目が未達成のため、3 病院が 1 年更新。

○地域がん診療連携拠点病院の「高度型」について

平成 31 年度からの指定更新の際に、地域がん診療連携拠点病院の中に「高度型」という指定区分が新たに追加されたが、京都府として「高度型」の推薦を行わない。

○次回の更新の際には、都道府県がん診療連携拠点病院が 2 箇所ある都府県

については、議論される予定であるため、両大学病院を中心にがん診療連携拠

点病院等の取組みを積み重ねておく必要があるので、部会活動の更なる活性化や課題等の改善のための新たな取組み等を進めていただく必要がある。

### <質疑>

特になし

#### 1－(2) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会(7/10 国立がん研究センター主催)の開催結果について

令和元年7月10日に開催された上記会議について、厚生労働省・各部会からの活動報告を中心に報告。

- ・臨床研究部会の廃止が提案されて、了承された。
- ・がん薬物療法部会の設置について、提案があったが、上記の部会廃止の関係もあり、まずは検討会を立ち上げることとなった。

#### 1－(3) 第2期京都府がん対策推進計画等について

平成30年3月に策定した第2期京都府がん対策推進計画の「がん医療体制の整備・充実」「がんと共生社会の実現」の分野における数値目標及び拠点病院等の診療実績数値を説明。

- ・院外向けのがん相談件数がどの病院も少ないため、地域の拠点として、院外向けの相談支援に力を入れる必要がある。
- ・地域連携クリティカルパスの適用件数が当初計画の実績より減少しているため、地域連携部会を中心に現在の課題等を整理して、活用のための検討が必要。

### <質疑>

特になし。

#### 1－(4) がん診療連携拠点病院の取組み(PDCAサイクル)について

- ・都道府県がん診療連携拠点病院の京都第一赤十字病院・京都医療センターから事例を紹介。

#### <京都第一赤十字病院>

- ・がん診療推進室を設置して、院内の課題の共有や組織的な改善策を講じるとともに、院内臨床指標等を活用した診療の質の評価や診療科、がん相談支援センター等の各課題についてのPDCAサイクルの取組み事例の紹介があった。

## ＜京都医療センター＞

- ・国立病院機構の臨床評価指標を利用した免疫療法におけるPDCAサイクルの取組み事例の紹介があった。

## ＜質疑＞

- ・PDCAサイクルの評価の報告があったが、がんに関する評価部分については、評価の統一性はあるのか。日本赤十字や国立病院機構でやっていると思うが。

→日本赤十字では、トータルでの評価はあるが、今後細かな評価の検討を行っていくことになると思われる。

## 2－（１）各部会の活動について

### （ア）各部会からの活動報告

部会活動報告、活動状況、部会活動における課題、今後の方向性について  
部会長等から報告

#### ○院内がん登録部会

- ・第47回～52回の院内がん登録部会及び研修会を開催した。
- ・都道府県がん診療連携拠点病院が主となり、京都府のがん登録の集計データ、また予後生存率集計データの分析を行っていく。
- ・9月28日、9月29日に第8回院内がん登録セミナー2019 京都を開催予定。

#### ○相談支援部会

- ・第25～27回の相談支援部会を開催した。
- ・PDCA実施状況チェックリストの全体的な傾向としては、地域に向けた活動が弱いという1回目の結果を踏まえ、地域で実施する病院のイベントでがん相談の場を設ける病院もあった。
- ・がん患者の就労との両立やがんゲノム医療に係る相談など、がん相談のニーズが複雑かつ高度化している。

#### ○研修部会

- ・各病院の研修状況を取りまとめ、その情報を京都府HPで掲載。
- ・「ゲノム医療最前線」「乳がん医療最前線」の2テーマの研修動画を作成し、facebookで視聴できるようにした。
- ・現在までに各施設で情報収集したがん研修計画を分析し、横断的な研修の具体策を模索し、実現に向けての方策を見出したい。

#### ○緩和ケア部会

- ・医師向け緩和ケア研修会を各拠点病院等で実施
- ・看護師向けのELNEC-J研修会の実施(平成30年9月に開催)

- ・ 今後は、新規に緩和ケア病床開設を計画している施設に対して、様々な面で支援・サポートや、各施設での緩和ケア病床運営面での課題や問題点を共有し、改善に向けて支援する。

### ○外来化学療法部会

- ・ 令和元年7月12日にがんゲノム医療に関する情報共有と各拠点病院等の取組み状況の共有を行った。
- ・ 今後は、過去にテーマに挙げた「高齢者の化学療法」「抗がん剤の曝露対策」「免疫チェックポイント阻害剤の副作用対策」についての関心が高いため、改善事例等の報告を行い、更なる質の向上を図る。

### ○地域連携部会

- ・ がんに係る地域連携手帳の運用状況アンケートを実施中。
- ・ 平成31年2月に部会を開催し、がんの地域連携の進捗状況や先進事例について、協議を行った。
- ・ 今後は、地域連携手帳を活用している医療機関の工夫、普及が進んでいない医療機関の状況等を共有化し、運用を促進する。

## (イ)主な意見

### ○院内がん登録部会関連

- ・ 全国がん登録の予後調査について、マイナンバーを活用する準備をしている。これができるとかなり精度の向上が見込まれる。
- ・ 近畿からはまだ二次利用の申請が出ていない。

### ○相談支援部会関連

- ・ 他施設の患者等への相談支援に力を入れていく必要がある。

### ○研修部会関連

特になし

### ○緩和ケア部会関連

特になし

### ○外来化学療法部会関連

特になし

### ○地域連携部会関係

- ・ がんの地域医療については両大学のご指導をいただき、力をいれていきたい。

## ○全体を通して

- ・がんの予防の観点を入れていく必要があると考えている。  
遺伝性の相談・カウンセリングの次に行う予防的な手術等を京都府としてどのようにしていくのかという観点が必要ではないか。

- ・国の連絡協議会には、予防医学についての部会がない。  
がん検診の受診率が低いので、がん医療戦略推進会議の中のスキームに入れたらいいのではないか。

→（事務局回答）

がん検診については、別で会議をしており、今後、情報提供できるよう、考えたい。

- ・がん診療連携拠点病院などの医療体制に京都私立病院協会の病院は入っていないので、我々の病院の役割を明記してほしい。
- ・がんゲノムについて、スムーズなスキームが出来ていない。拠点病院のご指導を願いたい。

（事務局）

- ・国立がんセンターが昨日発表した5年生存率等含め、向上していることがわかる。今の課題としては、がん患者が社会に復帰していく際の就労支援をどうしていくことが必要か。京都府として次のステップを考えていきたい。
- ・がんの患者が増えていき、地域で医療を受けることが必要となっている。  
「共生」ということで相談体制をどのようにしていくかということ課題として考えていきたい。

以上